

歴史 | 探訪

~文化財を巡る~⑤

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見ていきましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「無形民俗文化財(年中行事など)」

お正月に始まり、節分、ひな祭り、端午の節句、盆、大みそかと1年の間にはいろいろな年中行事があります。また、人の一生には、誕生から初節句、成人式、結婚、厄払い、還暦などの通過儀礼があります。これらは、私たちの日常生活に強く結び付いて行われてきましたが、生活の変化によって姿を消しつつあります。

田ノ口の賽の神祭(市指定)日高町田ノ口

400年前から続くといわれる賽の神に大わらじと大ぞうりを奉納する祭りです。区民が稲わらを持ち寄って長さ1m、幅70cmにもなる



大わらじと大ぞうりを片方ずつ編み上げ、足の神様「サエノカミ」が宿るとされている岩に近い杉の木につるします。無病息災を祈って1月第2月曜日に行われています。

松岡の御柱祭(市指定)日高町松岡

十二所神社前の円山川河川敷に据えられた巨大な「御柱松」に火を付け、焼き捨てるという奇祭。承久3年(1221年)、承久の変で流刑になった雅成親王の後を追って、円山川に身を投げたという妃・雪姫の霊を慰めたことが始まりだと伝えられています。俗に「ばば焼き」と呼ばれ、4月第2日曜日に行われています。



雷神社の御田植祭(市指定)佐野

田植えが始まる前に、豊作を祈願する祭りで、佐野・上佐野・納屋の3地区の氏神である雷神社で奉納されています。稲の苗に見立てた「イズミザクラ」の枝を授かった氏子の円陣



の中で、牛使い役が田すきを使って土をならすしぐさをし、歌を歌いながら桜の枝を投げ込みます。毎年4月29日に行われています。

幟まわし(市指定)出石町宮内

5月5日の端午の節句に、出石神社で行われます。宮内区の中学生在が、初節句を迎える男の子がいる家々を回り、門前で5本の幟を輪になって掲げて歌を歌い、竹法螺を吹きながら祝います。天日槍が氾濫する濁流から瀬戸を切り開いて引き揚げてきた時、幟を立てて迎えたという伝説にちなんで始まったとされています。



【表紙写真】11月5日、市の石「玄武岩」にちなんで豊岡市のマスコットキャラクター・玄武岩の「玄さん」の発表会を、玄武洞公園(赤石)で行いました。これは、山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワークへの登録申請を間近に控え、PRの助っ人として作製したものです。玄さんは、今後、地域のジオ活動の支援や観光PRに活躍する予定です。

発行/豊岡市
編集/政策調整部秘書広報課
07961231111
市長室 FAX 24-1004
FAX 24-2575

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp

(総合支所)
竹野 ☎47-1111
出石 ☎52-3111
城崎 ☎544232-0001
日高 ☎1101
但東 ☎544232-1000